

〔テーマ〕「みんなで歩こう！ 学ぼう！ to 水の科学博物館」
 “水博最寄駅から「水博」を目指して周辺の歴史を学びながら…”

実施日：平成30年10月7日（日）

集合：神戸高速鉄道「高速神戸駅」東改札口前（湊川神社側） 午前10時（厳守）

* 水の科学博へ直行の人は午前11時頃を目途に現地到着を目指す。

【計 画】 今回の散策では “神戸の水や水道の歴史” などについて周辺の環境事情と合わせて学んでみましょう。

今回訪れる場所は六甲山系の麓に在する「奥平野浄水場・神戸市水の科学博物館」です。奥平野浄水場は神戸市水道の創設工事で造られた浄水場で、明治33年4月には付近の布引貯水池や烏原貯水池などの水源の水を浄化の上、市内へ給水を開始しています。この様な神戸市水道のルーツの場所を訪ね、近年増加する地震・台風・豪雨・酷暑等による水道事情を考える機会にしてみてください。

また、当日10月7日は「わフェスタ in 水博」を開催中です。わ主催のイベントや野外店が出ています。到着後は一緒に盛り上げましょう。

〈散策経路〉 高速神戸駅集合⇒（湊川神社参拝）⇒大倉山公園⇒宇治川河岸・宇治川公園⇒水の科学博物館

主なコースガイド

大倉山公園



水の科学博物館
 （奥平野浄水場）



神戸駅から湊川公園の北側には神戸らしい都市景観を形成している場所があります。その中心地が「大倉山公園」です。当公園は明治43年に当時の実業家である大倉喜八郎の別荘であった土地を寄付を受けて整備された処です。園内には全国35県人会により整備された「ふるさとの森」「野球場」「児童遊園」「神戸市立中央図書館」など整備され、市民の憩いの場となっています。また、この公園の歴史の深さを感じるものとして、兵庫県初代県知事「伊藤博文銅像」があります。但し、第二次世界大戦中の金属供出により肝心の銅像がなく台座のみになりましたが、この公園を代表するモニュメントです。この公園ゾーンを「大倉山」と云われるので、この山の標高を調べてみると現在41m程度らしい。かつては56m程度あったとか。

まずは最初の散策地「大倉山公園」で名残の夏と初秋の空気を吸い心を浄化してみてください。

「神戸市水の科学博物館」は神戸市内へ安全で良質な水道水を提供する奥平野浄水場の一角にあります。建物は神戸地方裁判所などの設計を手掛けた河合浩蔵によるもので、奥平野浄水場旧急速ろ過場土屋で大正6年に竣工しました。ドイツルネッサンス風で重厚且つ優美な外観は日本建築学会からの保存要請を受けて、平成2年にこの建物の保存活用のために神戸市水道給水開始90周年を記念した「水」をテーマとする「水の科学博物館」として公開されました。館内見物時に博物館2階にある、此処で浄水された神戸の水を一度試飲して体内も幾らか浄化してみてください。

結果報告

* 参加目標の20名を達成！（直行組及び“わイベント”参加者含む）

* 秋晴れの良い天気にも恵まれました。

また、たくさん子どもたちが走り回る光景に気持ちが癒され、少し若返った感じがしました。

* 肝心のどれだけ学習が出来たかは、夫々の参加者の心中にお任せします。

“また次回をお楽しみに…”

（情報提供：中央区会 島ノ江繁吉）



“一緒にむかし遊びも楽しみました！”